

釜ヶ崎ゼネスト!

春斗のとき みんな

仕事に行かなければ...

前回(No.191) 夜間学校 報告

予定したテーマは「この十

月一日から、いよいよ医療費の削減負担が強制されるが、

それにどう対抗しなくてはか

「したが、問題はより根源的な「釜ヶ崎団結」になり、自衛した労働者が半めくれました。

「団結がない。労働組合も決定もあがったが、あがったから

といつてすぐギャンブルなど

にいかずに、ケタオチの人夫出しの車には誰ひとり乗らない

女うにすべきた。「ギャンブルはワシも好きで

っせ。」

「かたいこといってはいはんと

話が出来ない。安く買おうも

りぞやアなる。「生活の余裕がどこからすべ

「人夫出しはいつまでたつても

西成の労働者をなめろ。やつ

らを苦しめるためにがんばるべ

「がんばってきつめた生活を

するにはなんらかの理念がなく

「はいけないのでは。ただ人夫

は。し

「たしかに、春斗のとき、みんな仕事にいかなければ、つ

まり釜ヶ崎ゼネストをうてた

ら、すぐ賃金は上がるだろ

う。そして、そのために、日頃から節約してカネをためこ

おく。目的が賃上げだけなら

それでもよい。しかし、なんぞしたいほう

だいいしはいけないのかとい

う人に対しては説得力はあま

りないのではないか。賃金が

上がるまでギャンブルをいかに

ここで、賃金が上がったら、

「はいけない。」

「そういうこともあるかもしれ

ないが、しかしとにかく、ケタ

オチの車には一人も乗らないと

いうようにならないとだめ。

「このメシ代もないから乗る

んだな」とやつらは思っている。

「そういうやつらに、オレたちの

意地をみせる必要がある。」

「春斗のとき組合が「パーパー

いっころと車に乗る人も少ない。これも団結のあらわれではないか。」

「ある人が「団結せねあかん」といとは、別の人は「団結なん

かごまるか」という。しかし、双方とも、賃金は安い、人夫出しをなんとかしたいと思っっている。どうすればいいのかが。どうすれば、釜ヶ崎ゼネストをうてるくらいの団結がつくられるか。